

## 12 デザインシンキング研修

【合同研修】

～ 最適な解決法を見出す力を養う ～

目的	真の課題に対応する解決策を自由な発想を持って企画・立案し、ブラッシュアップを繰り返すことにより最適な解決法を見出す「デザイン思考法（デザインシンキング）」の基本を学ぶ。		
内容	デザイン思考とは何かを理解するとともに、デザイン思考による課題解決のプロセスをグループワークを通じて実践的に学ぶ。		
実施年月日	第1組：令和6年 8月26日（月） 第2組：令和6年 8月27日（火）	定員	各組 36名（市町村職員12名 県職員24名）
対象者	（市町村） 採用2年目～係長等未満の職員 （県） 中堅キャリアアップ研修対象者で、受講を希望する職員		
実施場所	大分県自治人材育成センター	定員	各組 36名（市町村職員12名 県職員24名）
推薦期限	令和6年 7月19日（金）	《第9回》	経費内訳 内訳表1
指定ホテル	—	その他留意事項	—
研修講師 （プロフィール）	<p>【九州大学大学院 芸術工学研究院 ストラジックデザイン部門 教授 平井 康之（ひらい やすゆき）氏】</p> <p>1961年生まれ。 京都市立芸術大学卒業後、コクヨ株式会社にデザイナーとして勤務。 在職中の1990～1992年に英国のロイヤル・カレッジ・オブ・アート（RCA）に留学。 マスターを取得し帰国後、アメリカのデザインコンサルタント会社DEOに4年間勤務。 九州芸術工科大学（現・九州大学）准教授を経て現職。</p> <p>インクルーシブデザインとデザイン思考を教え、同時にさまざまな企業のコンサルタントや共同プロジェクトにおいてインクルーシブデザインを実践・研究している。</p>		
受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短い時間ではあったが、講師の的確なスキル、思考法の説明のもと、課題テーマに対する政策検討まで実践的に取り組むことができたのが非常に良かった。</li> <li>・デザインをみんなで出し合い、形にしていくことの難しさと楽しさ、新しい発想の生まれやすさを知ることができた。</li> <li>・専門性が高く、正直難しくて最初はついていくのに必死でした。最後はグループワークも上手くまとまり、楽しかったです。</li> <li>・グループワークがたくさんあり、実際にデザイン思考を使って課題に取り組めてよかった。</li> </ul>		
備考			

## 時間割

		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
		8:50	20	30					30	
1 日 目	受 付	オリ エン テー ション	◎ オリエンテーション 概要説明、自己紹介（全員）			昼 食	5 疑似ユーザーヒアリング +グループワーク 課題収束～最重要課題発見			閉 講
			1 レクチャー①：デザイン思考とは 2 ウォーミングアップ① 3 レクチャー②：デザイン思考のプロセス 4 疑似ユーザーヒアリング +グループワーク 課題拡散～課題収束				6 サービスマッピング 7 ウォーミングアップ② 8 HMV～アイデア拡散 9 アイデア収束～プレゼンまとめ 10 プレゼンテーション			

※上記内容は、研修実施時に変更されることがありますので、予めご了承ください。